

がんばる子どもたちを 強力に支援

特に力を入れます！

将来にわたって、活気のある元気なまちであり続けるため、次代の大阪を担う子どもたち、孫たちがすばらしい教育をしっかりと受けることができる環境、親たちが子育てしやすい環境をしっかりと作ることが大切です。子ども、子育て世代を活性化することが、ひいては高齢世代を支えることにつながると考えています。

親の経済格差が子どもの教育格差につながることがあってはならず、子どもたちが等しく学び成長していくことができるように支えていくべきです。

そこで、この任期中の4年間の大きな目標として、「子どもの教育・医療 無償都市大阪」をめざします。

- 幼児教育の無償化
- 0～18歳までの医療費実質無償化
- 妊婦健診の公費負担の拡充
- 民間事業者を活用した保育所整備や、小規模保育事業の拡大による待機児童ゼロ
- 中学校給食の100%学校調理への早期転換
- 子どもの経済困窮対策チームの設立



真に支援を必要とする 高齢者へのサポート

社会全体で支えていくべき高齢世代、とりわけ真に支援を必要とする高齢者には、徹底したサポートを行っていきます。

- 特別養護老人ホーム増設による待機高齢者ゼロ
- 要介護者の見守りサポートによる寝たきり、一人暮らし高齢者への支援
- 健康寿命増進のため地域のつながりを一層拡大



副首都にふさわしい大阪へ

東京一極集中を解消し、東京と並ぶツインエンジンとして、日本を引っ張っていくような大都市大阪の実現をめざします。

- 交通網などの都市インフラの整備
- 大規模災害に備えた防潮堤の整備など防災力の強化
- 確かな経済成長に向けて
 - ・ 観光の基幹産業化
 - ・ 先端技術産業の強化
 - ・ 果敢に挑戦する中小企業や新たに会社を興す「起業」をしっかり支援

新たな大都市制度の実現を

副首都機能を担う行政組織や意思決定のあり方について、市民の皆さんとの対話や市会での議論を通じ、都構想の案をより良いものにバージョンアップした設計図案を完成させ任期中に住民投票を実施することをめざします。